VRシステムを活用した認知症出前研修会　申込書

　○裏面の【開催要件・注意事項】を確認いただいたうえご記入ください。

|  |
| --- |
| 申込日：　　　年　　　月　　　日 |
| 団体（施設）名 |  |
| 連絡先 | 住所 |  |
| Ｔｅｌ |  |
| Ｆａｘ |  |
| E-mail |  |
| 担当者 | 部署 |  |
| 役職名 |  |
| 氏名 |  |
| 希望日時 | 第１希望 | 第２希望 | 第３希望 |
| 令和　　年 　 月 日： 　 ～ ： | 令和　　年 　 月 日： 　 ～ ： | 令和　　年 　 月 日：　 ～ ： |
| ※希望日時は、第３希望までご記入ください。休日や17時以降の開催、120分の時間確保ができない場合など、【開催要件・注意事項】を充たさない場合は事前にご相談ください。ただし、ご要望に添えない場合がありますのでご了承ください。 |
| 開催会場 | 会場名 |  |
| 部屋名 |  |
| 収容人数 | 　　　　名 |
| 住所 |  |
| 駐車場 | 会場に駐車場が□ある　□ない（代替駐車場の場所　　　　　　　　　　　　　） |
| 対象者 | （記入例：上級サポーター、認知症カフェボランティアスタッフ、施設管理者） |
| 年　　代 | 10代　・　20代　・　30代　・　40代　・　50代　・　60代　・　70代以上　（該当する年代を○で囲んでください　複数選択可） |
| 参加者数 | 合計　　　名　（うち男性　　　名　女性　　　名） |
| 研修会位置づけ | （記入例：認知症カフェ利用者の対応のため。施設リーダーの資質向上のため。） |
| 受講者側で準備可能な物品に☑をご記入ください□除菌シート※　　※は必ずご準備いただきますようお願いします。□スクリーン（会場に白っぽい壁があれば代用可）□延長コード　□ホワイトボード□ワイヤレスマイク　　□机・テーブル・椅子　　□ゴミ袋 |

**（裏面にも記入欄がございます）**

※特に研修会に盛り込んで欲しい内容や体験ご希望のコンテンツがあればご記入ください。

＜希望する内容＞

・

・

・

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  |  |

＜希望するコンテンツ＞

・体験可能なコンテンツは以下の一覧のとおりです。

・体験希望のコンテンツがあれば、空欄に該当番号をご記入ください。

特に希望がない場合は、空欄には斜線をご記入ください。

・研修会では、3種類までのコンテンツを体験することができます。

ただし、№4「Re connect～結いなおし～丹野智史物語」の体験を希望される場合には

選択いただけるコンテンツは2種類までとなります。

【バーチャルリアリティ（VR）コンテンツ一覧】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| No | タイトル | 内　　　　　容 |
| 1 | 私をどうするのですか | 視空間の失認の症状を体験できるコンテンツ。車から降りる、ただそれだけの動作がビルの上から降ろされるように見える怖さを体験する。本人の視点の大切さを再認識できる。 |
| 2 | ここはどこですか | 電車に乗っていてふとどこで降りるのかわからなくなる状況を体験できるコンテンツ。 |
| 3 | レビー小体病～幻視編～ | レビー小体型認知症の幻視を再現したコンテンツ。レビー小体病当事者の樋口直美さん完全監修。 |
| 4 | Re connect～結いなおし～（丹野智史物語） | 39 歳で若年性アルツハイマー型認知症と診断された丹野智史さんがモデルのコンテンツ。認知症と診断され、落ち込み、鬱病を経て前向きに立ち直るまで、家族、会社、友人がどのように彼を支えたのかを追体験できる。 |
| 5 | やすおじいちゃん物語 | 認知症と診断をされたおじいちゃんを取り巻く、家族の対応を2パターンに分けておじいちゃんの視点で体験できるコンテンツ。パターン1は、物忘れが始まったおじいちゃんを責めてしまう家族。パターン2は、優しく受け止める家族。1と2でおじいちゃんの周辺症状はどう変わっていくかを体験できる。 |
| 6 | やすおじいちゃんの息子物語（やすおじいちゃん物語続編） | やすおじいちゃんを責めてしまう家族も、優しく受け止める家族もおじいちゃんへの愛情は変わらないはず。なぜ責めてしまったのか、なぜ優しく受け止められたのかの理由を、息子を取り巻く社会背景（息子の職場の認知症に対する理解度、近所の協力体制など）に重ねて息子の視点で体験できるコンテンツ。 |

【開催要件・注意事項】

１ 医療・介護サービス事業所管理者が、従事者（職員）に対して実施しなければならない職員研修としての

開催は不可とする。

２ 対象者は中学生（13歳）以上とする。

３ 参加者数は10名程度とする。

４ 開催時間を120分確保できる（平日の17時までに終了する日程でご計画ください）。

５ グループワークを必須とする。

６ VR体験前と体験後にアンケート調査を実施する。

７ VR機材のみの貸し出しは不可とする。

８ 研修会の会場が準備できる。

９ 無料の駐車場を確保できる。

10 宗教の布教活動、選挙活動、営利目的の研修会開催ではない。